

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【公開番号】特開2021-144251(P2021-144251A)

【公開日】令和3年9月24日(2021.9.24)

【年通号数】公開・登録公報2021-045

【出願番号】特願2021-103849(P2021-103849)

【国際特許分類】

G 02 C 7/00 (2006.01)

G 02 B 1/118 (2015.01)

G 02 C 9/00 (2006.01)

【F I】

G 02 C 7/00

G 02 B 1/118

G 02 C 9/00

【手続補正書】

【提出日】令和3年9月6日(2021.9.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可撓性を有する透明基材の少なくとも一方の面に可視光の波長以下のピッチで複数の構造体を設けたシートを用いた眼鏡装着者用保護具において、

上記シートは、無延伸の上記透明基材を用いて形成され、

眼鏡のテンプルへの装着位置に、複数の切込み溝からなる左右一対の装着部が形成された眼鏡装着者用保護具。

【請求項2】

上記シートは、入射角5°での反射率が4.7%以下である請求項1に記載の眼鏡装着者用保護具。

【請求項3】

上記構造体は、親水性の紫外線硬化性樹脂の硬化物で形成されている請求項1又は2に記載の眼鏡装着者用保護具。

【請求項4】

上記シートは、測定波長()550nmの面内リタデーション値が100nm以下である請求項1~3のいずれか1項に記載の眼鏡装着者用保護具。

【請求項5】

上記眼鏡のテンプルとレンズ位置との境に応じて折曲げ線が形成されている請求項1~4のいずれか1項に記載の眼鏡装着者用保護具。

【請求項6】

上記シートの上記眼鏡の上側に沿って折曲げ線が形成されている請求項1~5のいずれか1項に記載の眼鏡装着者用保護具。

【請求項7】

上記眼鏡が、偏光方式3Dモニターに表示した3D画像を観察する偏光眼鏡である請求項1~6のいずれか1項に記載の眼鏡装着者用保護具。

【請求項8】

感染防止用眼鏡装着者用保護具であって、
上記請求項 1 ~ 7 のいずれか 1 項に記載の構成を備える感染防止用眼鏡装着者用保護具

。 【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上述した課題を解決するために、本発明に係る眼鏡装着者用保護具は、可撓性を有する透明基材の少なくとも一方の面に可視光の波長以下のピッチで複数の構造体を設けたシートを用いた眼鏡装着者用保護具において、上記シートは、無延伸の上記透明基材を用いて形成され、眼鏡のテンプルへの装着位置に、複数の切込み溝からなる左右一対の装着部が形成されたものである。